

地域包括支援センター名称	実施日	参加者(関係機関等)	数	テーマ/目的	検討結果
第2育秀苑	R1.7.18	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、介護サービス事業所等	23人	【テーマ】 幸せな最期ってなんだろう～ ハッピーエンディングカード体験をしてみよう 【目的】 自分らしい最期を迎えるために、地域の皆さんと一緒に考えていくことにより、それぞれの人生・死生観と、「自分の大切な人の最期」という視点から「地域での幸せな最期」について考える。	・「自分の最期について考える必要性を感じた。」「家族関係、お金のことなど事前の準備が必要。」などの意見があった。 ・「幸せな最期」は普段なかなか周囲と話すことのない話題であり、特に若い世代にはイメージすることが難しかった。 ・自身の最期を考え想像し、グループワーク等を通じて意見を共有したことで、各自が家族や地域とのつながりを見直す良い機会になった。
桜台	R1.8.22	民生委員、町会・自治会、警察署、介護サービス事業所等	33人	【テーマ】 今だから考えよう!高齢者ドライバー運転と免許返納 【目的】 高齢者ドライバーによる重大な交通事故が頻発している。高齢者の支援に関わる者として、訪問時の会話等で「高齢者の免許返納等を促すことができないか」について考える。	・交通事故に関するDVDやオレオレ詐欺に関する実際の電話のやりとりなど、映像や音声を通じてより身近にその実態を感じることができた。 ・「免許の自主返納の困難さが良くわかった。」「DVDを見て交通事故の場面はショックだった」などの意見があった。 ・免許返納に関しては、代替の移動手段を考えていくことが必要との意見も多くあった。
豊玉	R1.7.9	民生委員、町会・自治会、コンビニエンスストア、調剤薬局、介護サービス事業所、社会福祉協議会等	44人	【テーマ】 認知症の方も安心して暮らすことのできる地域を目指して 【目的】 担当地域で活動されている民生委員や各関係機関と共に、認知症の方とご家族を支える地域のあり方について、情報共有や意見交換を行うことで、関係者間のネットワークを構築し、地域包括ケアシステムの確立を目指す。	・N-impro(ニンプロ)の体験を通して、認知症の方への対応について意見交換を行うことができた。また、地域の社会資源(薬局・コンビニ・介護保険事業所等)の活動を知ることができた。 ・「認知症の見守りにコンビニや薬局がとても力になると感じた。」 「コンビニ店長さんから直接地域との関わりについて伺えて良かった。」などの意見があった。
練馬	R1.5.22	民生委員、町会・自治会、訪問支援協力員、介護サービス事業所等	36人	【テーマ】 認知症の方が安心して生活できる地域について考える 【目的】 認知症の方が安心して生活できる地域について話し合い、地域の社会資源や地域連携について考える。	・地域の介護支援専門員が参画して、当日はファシリテーターとしてグループワークを実施した。 ・グループワークにより、認知症になっても暮らしやすい地域を参加者が考え、地域の社会資源を振り返ることができた。 ・「自治活動がまだまだ活発である。」「民生委員ががんばっていること。民生委員とケアマネが繋がることが大事。」「ネットワークづくりや居場所づくりが必要。」などの意見があった。
練馬区役所	R1.5.17	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、認知症家族会、介護サービス事業所、消費生活センター、社会福祉協議会等	38人	【テーマ】 地域包括ケアシステムの確立 【目的】 豊玉上、豊玉北地域の関係機関間のネットワークに基づいた地域包括ケアシステムの確立を図る。	・消費生活センターの出張講座「悪質商法被害防止、見守りのポイント」を開催。「利用者家族で、被害にあう可能性が高い危険な方がいるので、周知や注意喚起していきたい。」などの意見があった。 ・聴講の様子やアンケートからも悪質商法被害防止、見守りに関する問題意識が高いことが伺われ、地域で取り組むべき課題であることを再認識した。
中村橋	R1.6.13	民生委員、訪問支援協力員、介護サービス事業所、行政職員等	31人	【テーマ】 災害時の高齢者支援 【目的】 貫井・中村北地区における「支援者」の視点から、災害時の高齢者支援や地域課題の共有を行う。	・区の防災担当者による「住まいの防火診断について」、「自分の身は自分で守る」などの講話をいただき、「災害に備えて日常生活で心がけていること」についてグループワークで検討した。 ・ケアマネジャーから「近隣の方が高齢者を気にかけてくださるよう、日頃から利用者と近隣住民とのコミュニケーションの橋渡しができれば良いと思う。」などの意見があった。